

2016年3月度(第75期)中間仮決算ダイジェスト

■売上高

18,235百万円

売上高は、前年同期比2,315百万円減少の18,235百万円となった。進行基準の出来高は前年同期と比べ増加したが、3月実質完成物件が前年同期と比べ減少した事が影響した為。

■営業利益

1,570百万円

■経常利益

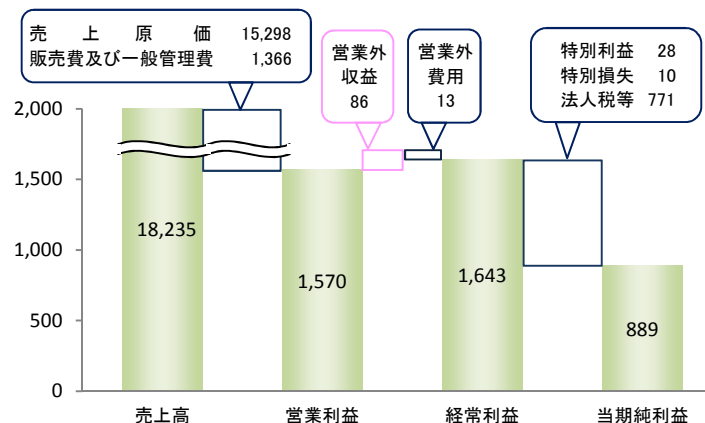
1,643百万円

■当期純利益

889百万円

損益計算書の概要

(単位:百万円)



利益は、採算性を重視した工事の施策によって利益率が改善した結果、営業利益で1,570百万円(前年同期比84百万円増)、経常利益は1,643百万円(前年同期比91百万円増)、当期純利益で889百万円(前年同期比144百万円増)となった。

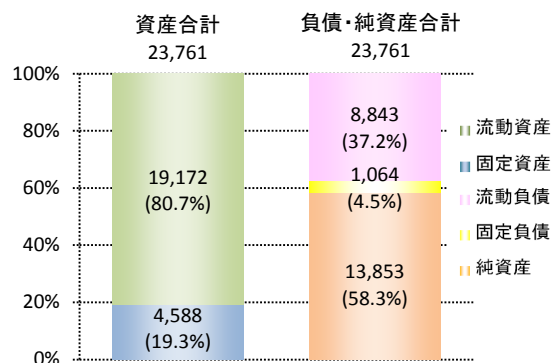
貸借対照表の概要

(単位:百万円)

■自己資本比率

58.3%

自己資本比率は58.3%(前年比9.4%増)となった。これは各種引当金の引当額の減少に伴い負債が減少したことによるもので、純資産は13,853百万円と前年末と比べ639百万円増加している。



■キャッシュフロー

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、主に仕入債務の増加に伴い資金が減少となった。
「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、主に保有債券の償還により資金が増加となった。
「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、主に配当金支払により資金が減少となった。
結果、前期末より1,162百万円資金が減少となった。

現金及び同等物 第74期 期末残高	営業活動CF	投資活動CF	財務活動CF	現金及び同等物 第75期 3月期残高
6,236	▲ 1,107	145	▲ 199	5,073

(単位:百万円)

■通期予測

第75期の本決算は、前期よりの繰越工事の増加により、売上高は331百万円増加の39,796百万円となり、利益は手持工事の原価率の改善及び選別受注の結果、営業利益は2,026百万円、経常利益は2,143百万円、当期純利益は、1,147百万円となる見込です。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
39,796	2,026	2,143	1,147

(単位:百万円)